

# 発達に特性がある学生の支援を考える ～教育と福祉の連携をめざして～

参加無料  
申込不要

『自分らしく生きていくために、  
周りの大人ができることは？』



近年、福祉の支援機関において、発達障がいの特性を持つ方の就労や生活相談が増加しています。学生時代から特性が表出しているにもかかわらず、気づきや受容ができないことが多く、年齢を重ね、仕事や人間関係がうまくいかず転職を繰り返したり、ストレスやしんどさから二次障がいとして精神症状が現れたりしてから、ようやく相談に至ることが多いです。

“できるだけ早期に支援へつなげることで、将来のしんどさを軽減したい”と考えています。

今回のシンポジウムでは、教育と福祉それぞれの役割について考え、今後連携を図ることで、より多くの学生の社会生活を支えられる地域をめざしたいと考えています。

## シンポジウム内容

※多少の変更の可能性あり

### 01 地域の福祉・支援の状況 障がい者支援の現場より

地域の就労や生活支援に携わる支援機関より、守口市・門真市における主に18歳以上の方への支援状況についてお伝えします。

### 02 支援につながったきっかけ 当事者・教職員・支援者それぞれの立場より

当事者や家族、教職員の方へ取材してきました。「学生時代に困っていたこと」や「どのように支援へつながったのか」「どのように支援へつなげたのか」など。

### 03 社会で必要な力とは！？ 社会へ出てからの困りごとを減らすために

自分らしく生きていくために、なにが大切なのか。社会で求められる力や働くために必要な力について、周りの大人ができることは。

### 04 教育・福祉の連携について 地域の福祉サービスのご紹介

守口市・門真市内にはたくさんの支援機関があります。福祉サービスの種類や内容、どのように連携していくか。“気づき”から“つなぎ”へ。



### こんなお悩み・困りごとありませんか？

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> コミュニケーションが苦手     | <input type="checkbox"/> 周囲となじむことが苦手        |
| <input type="checkbox"/> 自発的な行動が難しい       | <input type="checkbox"/> 精神的な不安が強い          |
| <input type="checkbox"/> 忘れ物が多い           | <input type="checkbox"/> 学校を休みがち            |
| <input type="checkbox"/> 時間を守るのが苦手        | <input type="checkbox"/> 集団行動が難しい           |
| <input type="checkbox"/> 他者の気持ちをくみ取ることが苦手 | <input type="checkbox"/> できることとできないことの差が大きい |

### 日時

2024年 **12月6日(金)** 14:00～16:00 (13:30開場)

### 会場

門真市民文化会館 ルミエールホール 小ホール

門真市末広町29-1 (京阪古川橋駅 徒歩約5分)

### 対象

教職員、支援機関職員、保護者など



## エル・フェスタ in 北河内西 実行委員会 (順不同)

アイ・i、アスク京橋オフィス、ういず守口、くらし工房けいはん、クローバー、グローアップ、サニーデイ、ジェイ・エス、JSN門真、シュポールスカッツ、smile、すみれカンパニー、ソラール、バザパ、ピアてらす大阪守口事業所、ぷらす守口、まんまる、ミラル、もりもり事業所  
守口支援学校、寝屋川支援学校、守口市社会福祉協議会、門真市社会福祉協議会、ハローワーク門真、守口市基幹相談支援センター  
門真市障がい者基幹相談支援センターえーる、守口市障がい福祉課、門真市障がい福祉課、北河内西障がい者就業・生活支援センター